PRESS RELEASE　2025.06.17

東京都現代美術館

開館 30 周年記念展

日常のコレオ

2025 年 8 月 23 日(土)〜11 月 24 日(月・振休)

01

東京都現代美術館は開館 30 周年を記念し、国内外で活動する幅広い世代のアーティスト約 30 名／組の実践を紹介する大規模展「日常のコレオ」を開催いたします。本展は、アーティスト、鑑賞者と共に、現代美術を通してこれからの社会を多角的に思考するプラットフォームの構築を目指し、作品展示のみならず、鑑賞者の参加と対話を伴うパフォーマンスやワークショップも数多く展開します。
本展では、ジェンダー規範に基づく家庭から美術館のような制度的空間、ムンバイや沖縄などの都市空間に至るまで、異なる場所における人々の営みや身振りに着目し、変容をもたらす主体性の現れを探求します。東京でのリサーチをもとに制作された新作も多数含む本展は、人々の日常を織りなす場所に内在する文化的、政治的、経済的諸力の相互作用を掘り下げながら、しばしば社会構造に組み込まれた見えない暴力や抑圧の力学を可視化し、その影響を浮き彫りにします。同時に、そこに生きる人々の経験、記憶、切望に光を当て、従属を拒み逸脱する抵抗の身振りと、それを生み出す創造性やユーモアについての洞察を与えてくれます。
ゆえに展覧会タイトルに含まれる「コレオ＝コレオグラフィー（振付)」は、制度や慣習、社会的規範によって規定される言動と、そうした管理や統御に対する批評的な応答、つまり日常を自らの内外から異化し、新たな場と生き方を創出する実践の両方を指し示しています。
アーティストたちとの密接な協働により構成される「日常のコレオ」は、生の諸条件に対する複層的な視座を提示し、多元的な社会の成熟に向けた想像と対話の場となることを志向します。

みどころ

〇アジアを中心に、15 を超える国と地域を拠点に活動するアーティスト約 30 名／組が一堂に会する国際展。国内で初めて発表される作家・作品も多数。各地の社会的、歴史的文脈を起点とした絵画、写真、インスタレーション、映像からパフォーマンスまで、現代美術の幅広い表現を紹介し、芸術的実践を介して社会課題について思索するための多角的な視座とアプローチを提示します。

〇本展では、パフォーマンスやワークショップという表現領域を、作品展示の周辺的な文脈にとどまらないものとして位置づけ、相互関係を築くことにより美術館という場のあり方に対し、身体的知覚や空間的関与を通じた批評的な視座を提示することを試みます。

〇美術館が位置する深川・木場を取り上げたパフォーマンス、東京近郊の移民コミュニティに関する参加型作品など、新作を多数発表。アーティストと鑑賞者が様々なかたちで集い、視点を共有しながら、それぞれの「日常」の域を問い直す契機を創出します。

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

アーティスト

青山悟：1973 年東京都生まれ、同地拠点
バクダパン・フード・スタディ・グループ：2015 年結成、ジョグジャカルタ（インドネシア）拠点
CAMP：2007 年ムンバイ（インド）で結成、同地拠点
ヒーメン・チョン：1977 年ムアル（マレーシア）生まれ、シンガポール拠点
ジョナタス・デ・アンドラーデ：1982 年マセイオ（ブラジル）生まれ、レシフェ（ブラジル）拠点
ブレンダ・ファハルド：1940 年マニラ（フィリピン）生まれ、2024 年サンフアン（フィリピン）没
FAMEME：1983 年台南（台湾）生まれ、台北（台湾）拠点
シルパ・グプタ：1976 年ムンバイ（インド）生まれ、同地拠点
檜皮一彦：大阪府生まれ、同地拠点
出光真子：1940 年東京都生まれ、同地拠点
今宿未悠：2000 年東京都生まれ、同地拠点
ジュリア・サリセティアティ & アリ・"ジムゲッド"・センディ：
1981 年ジャカルタ（インドネシア）生まれ、1978 年ジャカルタ（インドネシア）生まれ、同地拠点
黒田菜月：1988 年神奈川県生まれ、東京都拠点
アン・ミー・レー：1960 年サイゴン（ベトナム）生まれ、ニューヨーク（アメリカ）拠点
サム・メッツ：キングストン・アポン・ハル（イギリス）拠点
シュビギ・ラオ：1975 年ムンバイ（インド）生まれ、シンガポール拠点
リ：1992 年ミャンマー生まれ、ヤンゴン（ミャンマー）拠点
ライス・ブリューイング・シスターズ・クラブ：2018 年結成、ソウル・釜山（韓国）拠点
ピナリー・サンピタック：1961 年バンコク（タイ）生まれ、同地拠点
佐々木健：1976 年神奈川県生まれ、東京都拠点
新海覚雄：1904 年東京都生まれ、1968 年同地没
ソー・ソウエン：1995 年福岡県生まれ、同地拠点
髙橋莉子：1995 年愛媛県生まれ、東京都拠点
髙橋凜：1996 年東京都生まれ、同地拠点
トランスフィールドスタジオ：2018 年結成、東京都拠点
上原沙也加：1993 年沖縄県生まれ、同地拠点
植村真：1990 年愛知県生まれ、東京都拠点
カレル・ファン・ラーレ：1988 年ハーグ（オランダ）生まれ、同地拠点
山田響己：2000 年熊本県生まれ、東京都拠点
大和楓：1998 年徳島県生まれ、沖縄県拠点
ほか

02

03

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

パフォーマンス ＆ ワークショップ

8 月 23 日(土)―11 月 24 日(月・祝)　トランスフィールドスタジオによる新作ツアーパフォーマンス

8 月 29 日(金)　FAMEME による新作関連パフォーマンス

8 月 30 日(土)、31 日(日) 檜皮一彦によるパフォーマンス《MOT における車椅子のコレオグラフィーを実験する。》

9 月 7 日(日)　ライス・ブリューイング・シスターズ・クラブによる新作関連トーク＆ワークショップ

9 月 13 日(土)、14 日（日)、15 日(月・祝)　カレル・ファン・ラーレによるパフォーマンス《Contact》

10 月 3 日(金)―5 日(日)、10 日(金)―12 日(日)　植村真による新作ツアーパフォーマンス《夢の街》

10 月 25 日(土)、26 日(日)　大和楓による《Types of exclusion》のアクティベーション

10 月 28 日(火)―11 月 3 日(月・祝)　今宿未悠、ソー・ソウエン、髙橋莉子、髙橋凜、山田響己による

パフォーマンス《うろつきミーティング》

11 月中旬　CAMP による映像作品《Bombay Tilts Down》のリーディング・パフォーマンス

11 月中旬　バクダパン・フード・スタディ・グループによるワークショップ

ほか

04

05

06

07

08

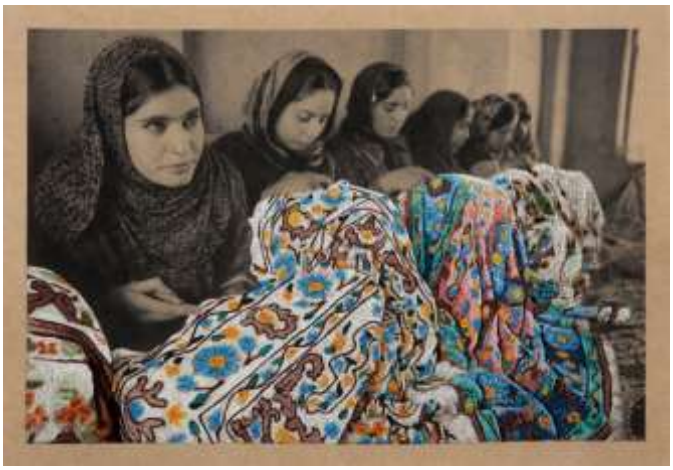
09

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

関連トーク

8 月 23 日(土)、24 日(日)　参加アーティストによるギャラリートーク
その他、ガイドスタッフによるギャラリートーク、手話通訳を介してのギャラリートークなども実施予定。
詳細は当館ウェブサイトで順次公開いたします。


10

11

展覧会概要

展覧会名　開館 30 周年記念展　日常のコレオ
会　　期　2025 年 8 月 23 日(土)～11 月 24 日(月・振休)
開館時間　10:00－18:00（展示室入場は閉館の 30 分前まで）
*8 月、9 月の毎金曜日はサマーナイトミュージアムにつき 21:00 まで開館
休 館 日　月曜日（9 月 15 日、10 月 13 日、11 月 3 日、11 月 24 日は開館）、
9 月 16 日、10 月 14 日、11 月 4 日
会　　場　東京都現代美術館 企画展示室 1F/B2F、ホワイエ ほか
観 覧 料　一般 2,100 円／大学生・専門学校生・65 歳以上 1,100 円／中高生 500 円／小学生以下無料
お得なツインチケット　3,500 円（一般 2 枚）
[学生無料デー Supported by Bloomberg]
9 月 13 日（土）・14 日（日）は中高生・専門学校生・大学生は無料です。
主　　催　東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助　　成　台湾文化部、モンドリアン財団、STPI – Creative Workshop & Gallery、オランダ王国大使館、
韓国国際文化交流振興院
協　　力　株式会社アフロ
問 合 せ　03-5245-4111（代表）
企　　画　事業企画課 企画係　崔敬華、小高日香理、権祥海、原田美緒

同時期開催の展覧会

8 月 2 日(土)－11 月 24 日(月・振休) 開館 30 周年記念　MOT コレクション　9 つのプロフィール 1935→2025
8 月 23 日(土)－ 11 月 24 日(月・振休)　笹本晃　ラボラトリー

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報用図版

広報用図版として 11 点をご用意しております。画像の利用は、展覧会の広報・紹介を目的とする新聞・雑誌その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内のご使用に限ります。お貸出しをご希望の方は、下記の貸出条件をご確認の上、必要事項とあわせて図版番号をメール（mot-pr@mot-art.jp）にてご連絡ください。

必要事項　貴社名／ご担当者名／貴媒体名（ジャンル）／発売・放送予定日

貸出条件

- 画像には作品情報（アーティスト名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト）を併記してください。
- 画像のトリミング、文字載せ、色彩変更、編集その他の改変はご遠慮ください。
- 記事の掲載前に校正原稿をお送りください。また、記事の掲載後には掲載誌（紙）、ウェブサイトの URL、DVD、CD 等をお送りください。
- 記事の転載その他のお貸出しした画像データの二次使用はお断りしております。使用後はかならずデータを削除してください。

01 ジョナタス・デ・アンドラーデ《Jogos Dirigidos (Directed Games)》2019 年

02 上原沙也加《眠る木》2018 年

03 佐々木健《ゲバ棒、杖、もの派の現象学、または男性性のロールモデルについてのペインティング》2024 年
撮影：加藤健

04 トランスフィールドスタジオ《Elevation, Stream》2024 年 ©Hyejeong Park ※参考写真

05 FAMEME《Museum of Dorian: Times Square Performance》（Performa Biennial 2019、2019 年）
撮影：Eian Kantor ※参考写真

06 檜皮一彦《walkingpractice》（「アブソリュート・チェアーズ」展、埼玉県立近代美術館、2024 年）
※参考写真

07 カレル・ファン・ラーレ《Contact》2024 年 撮影：Alex Heuvink

08 大和楓《Three types of exclusion》2024 年 ※参考写真

09 ヒーメン・チョン&ルネー・スタール《読まれなかった本のライブラリー》
Installation view: Serpentine Pavilion 2024, *Archipelagic Void*, designed by Minsuk Cho, Mass Studies
撮影：Heman Chong © Mass Studies ※参考写真

10 青山悟《Embroiderers (Dedicated to unknown Embroiderers) #7》2015 年 撮影：宮島径
©AOYAMA Satoru, Courtesy of Mizuma Art Gallery

11 出光真子《主婦の一日》1977 年　©Idemitsu Mako

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。